

# 大垣市立図書館 郷土資料室便り

2026年 春号  
発行元  
大垣市立図書館

4・5・6月の  
展示・講座情報

[「大垣藩の武術家 正木利充展」](#)

4月1日(水)～  
6月25日(木)

[「水の都学習コーナー」展示](#)

4月1日(水)～  
9月23日(水・祝)

[ふるさと古文書講座](#)

[ふるさと古文書基礎講座](#)

[学ぶ大垣講座](#)

※講座情報については、広報おおがき、図書館HPでお知らせします。

大垣いま・むかし



むかしどうぞ  
明治時代の無何有荘  
大醒樹



現在の無何有荘大醒樹

## 所蔵農「大垣藩の武術家 正木利充展」はじまる

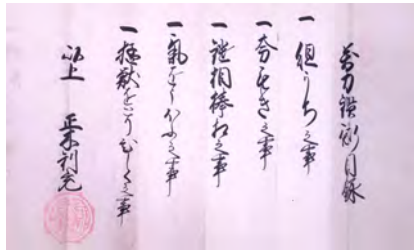
### 3階展示コーナーにて開催!!

大垣藩の武術家として有名な人物に正木利充がいます。利充は、元禄2年(1689)正月3日、大垣藩士の正木利品、田付左大夫の娘の子として生まれ、安永5年(1776)に88歳で亡くなるまで、武術を極めた人物です。一流流剣術、先意流薙刀術をはじめ、多くの武術を習得するだけでなく、萬力鎖術を創始し、大垣藩はもとより、全国的にも有名な人物となりました。また、利充が会得した先意流薙刀術は、代々子孫に伝えられ、幕末に至るまで正木家が大垣藩の薙刀術師範役を務めました。

今回の展示では、大垣藩の武術家である正木利充を中心として、大垣藩の武術に関する資料を紹介します。



左：「正木利充肖像」  
中央：「萬力鎖」(個人蔵)  
右下：「萬力鎖術目録」



#### 【期間】

令和8年4月1日(水)～6月25日(木)

午前9時～午後5時まで

【開催場所】

大垣市立図書館3階  
郷土資料室展示コーナー

【休館日】

毎週火曜日、5月5日(火・祝)は開館

4月24日(金)、30日(木)、5月7日(木)、29日(金)

#### ポケット学芸員



※ポケット学芸員をご利用いただけます。詳細は右記QRコードをご確認ください。



### 大垣「水」紀行(9)

地下水が自噴する大垣市には、ハリヨが生息しています。

ハリヨはトゲウオ科イトヨ属の一種でウロコがなく、体にトゲがある5〜6センチの小さな魚です。冷たいきれいな水の中にしか棲むことができないため、湧き水があるところや、その近くに棲んでいます。

ハリヨは、岐阜県西南濃地方と滋賀県の一部にしかいないため、環境省により絶滅危惧IA類に選定されています。大垣市では、西之川町、加賀野、曾根町、矢道町などに生息しており、地域の方々によって大切に保護されています。

平成20年(2008)10月に、「大垣市の魚」に指定されました。



「ハリヨ」

### 「水の都大垣学習コーナー」の展示が

新しくなりました!!

今回は

湧き水・ハリヨ・ホタル

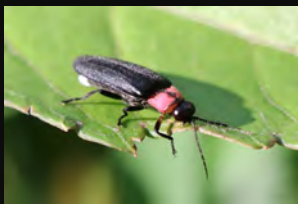
を紹介します。

#### 【期間】

令和8年4月1日(水)～9月23日(水・祝)

【場所】

大垣市立図書館2階 北側通路



# 大垣よもやまコラム

## ものがたり大垣城

坂東 肇

(15)大垣城天守の魔除け瓦

大垣城へ行ったのなら、天守三層目南西側の鬼瓦を見てください。そこには鬼瓦とともに、踏みつぶされるかのよな邪鬼瓦があります。これは、魔除けの瓦で肉眼でも見ることができません。昔から北東は鬼門、南西は裏鬼門として、家では魔除けの木を植えたものでした。例えば、北東にはヒイラギ、南西にはナテン(難を転じるもの)を植えました。大垣城の邪鬼瓦は、南西の裏鬼門を鎮護するものと考えられます。この邪

鬼瓦には、造られた年が刻まれているので、大垣城改築についての一つのヒントになります。邪鬼瓦は、昭和20年(1945)7月29日の空襲で大垣城とともに焼け落ち、現存はしないのですが、昭和初期の改修時に写真に撮られて現在に残っています。写真を見ると瓦には、「元和六年 申五月吉日□□藤原朝臣」と刻まれています。元和6年は、西暦の1620年で、庚申の年です。城主は、松平甲斐守忠良で、まだ戸田

### おすすめの1冊

#### 『絵馬に魅かれて...』服部等／著



大垣市立図書館3階郷土資料室、上石津図書館、墨俣図書館にてご覧いただけます。

本書は、日本にある小絵馬を取材し、そのうち240ヶ所(岐阜県下35ヶ所)を選択してまとめたものです。絵馬は、参拝者の願いを組み合わせながら各地の寺社が製作したのですが、その美には厳格さ、迫力、意外なかわいらしさなどがあり、その多様な魅力を紹介しています。

氏が大垣へ入る前のことで、邪鬼瓦は、元和6年に製造されて、天守三層の鬼瓦の一部として設置されたと考えられます。

もともと大垣城には色々謎があり、その一つが天守創建時には三層だったものが、江戸時代に四層になったというものです。郷土館にある関ヶ原合戦の津軽屏風(複製)を見るとわかるのですが、大垣城は三層で描かれています。絵図ですから、事実かどうかわかりませんが、合戦後に徳川家康の養女・満天姫が津軽家に嫁入りするときに持っていたものから、その時期に描かれたものには間違いないと推測されます。合戦直後の絵図ですから、三層だった可能

### レファレンス事例簿

【問い合わせ】  
大垣の名物「水まんじゅう」について教えてください。

#### 【回答】

『大垣市史民俗編』【231/オオ】によると、当時の様子わかる記述があります。「五月の連休の頃から、街のあちこちの和菓子屋の店

性は高いと思われる。そうすると、戦前の焼失前天守は、四層です。江戸時代に四層になったと考えられますが、その時期は記録には残されていないのです。大垣城天守に関しては『大垣城主歴代記』など、多くの記録に書かれているのですが、四層に改築したということは、どこにも書かれていません。

では、いつ四層になったのか考えてみると、その第一候補は、邪鬼瓦の銘にある「元和六年」になります。この年には大改築があったという記録が残り、最も考えられる年なのです。この年の大垣城改築は、かなり大規模であったようで、久瀬川から船町へ堀川ができるという記録も残

頭には、水まんじゅうが入った屋台風の水槽が見られる。そこには、陶器で作られた「猪口」の中に水まんじゅうが並んでいる。」とあります。

水まんじゅうの特徴は「葛とわらび粉で作られた透明な皮の中に、絹ごしのあんが入った和菓子」とあり、「湧き出る大垣の地下水がおいしさを出し夏の風物詩として定着している。」とあります。

ります。これは、後に船町川とよばれるもので、昭和30年頃までありました。この川により、金生山の石灰石を、杭瀬川と船町川を使って、大垣城内へ運び入れたのです。



天守の魔除け瓦

(次号へ続く)

大垣を深めよ!

Gaki Quiz

私はだれでしょう。



ヒント①  
私は、伊勢国より大垣に来ました。

ヒント②  
私は、大垣で医者になりました。

ヒント③  
私は、日本で最初の体系的な植物図鑑を出版しました。

#### 【回答】

『新修大垣市史 通史編』一附 市内各町誌【231/1/1】によると「船町」

は家並みの前に川があり船が通っていたので「船町」と名付けたとあります。字「西船町」と字「東船町」に分かれています。昭和18年(1943)に「船町」とな

り7丁目までできました。現在の船町1丁目〜2丁目、2ツ目橋付近が、「東船町」に該当します。



【問い合わせ】  
大垣市の旧地名「東船町」は、現在のどの位置になりますか。